

第 72 回

Molecular Embryology Seminar

下記の通りセミナーを開催致します。

記

演題: Hox 遺伝子群による中胚葉形成タイミングの制御

演者: 飯村 忠浩 先生

Stowers Institute for Medical Research

Kansas City, Missouri, USA

日時: 2006 年 3 月 13 日 (月)

17:00 ~ 18:00

場所: 医科新棟 (B 棟) 16 階 ゼミナール室 1

抄録: 脊椎の原基となる体節中胚葉は、その発生過程で分節化さらには領域化され、脊椎に分節性と位置に応じた形態のバリエーションを与える。私たちは、この体節中胚葉の形成過程をまず詳細に観察し、近位側の体節は Primitive Streak (原始線状) の最も頭側に存在する幹細胞集団から発生し、遠位側の体節は Primitive Streak に流入し続ける Epiblast (胚盤葉上層) から発生することを明らかにした。さらに、HoxB 遺伝子群は、Epiblast の予定体節中胚葉領域に HoxB1 から HoxB9 までが順々に発現し始め、Primitive Streak へ Epiblast 細胞が流入するタイミングを調節することで、胚の前後軸に沿った細胞の分布位置を決めていることを明らかにした。このことは Hox 遺伝子群の胚発生における Temporal Collinearity (時間的共線性) と Spatial Collinearity (空間的共線性) をつなぐ新たなメカニズムであると考えられた。

連絡先: 大学院医歯学総合研究科・分子発生学分野
井関・江藤 (内線: 5579)